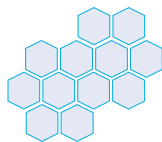


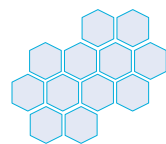
2024年2月期 決算説明会

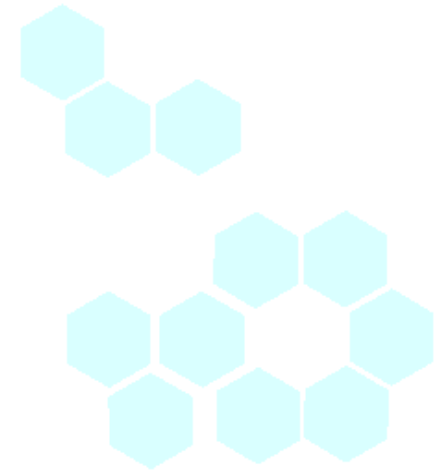
2024年4月16日

代表取締役社長 河田 淳



1.	2024年2月期	決算概要	・ ・ ・	P.3
2.	2025年2月期	業績見通し	・ ・ ・	P.21
3.	2025年2月期	重点取り組み	・ ・ ・	P.31
4.	参考資料		・ ・ ・	P.35









2024年2月期 決算概要

2024.2期 連結業績

2024.2期の連結売上高は増収となるも、連結営業利益は減益。

連結売上高：44,362百万円（前期比+2.9%）

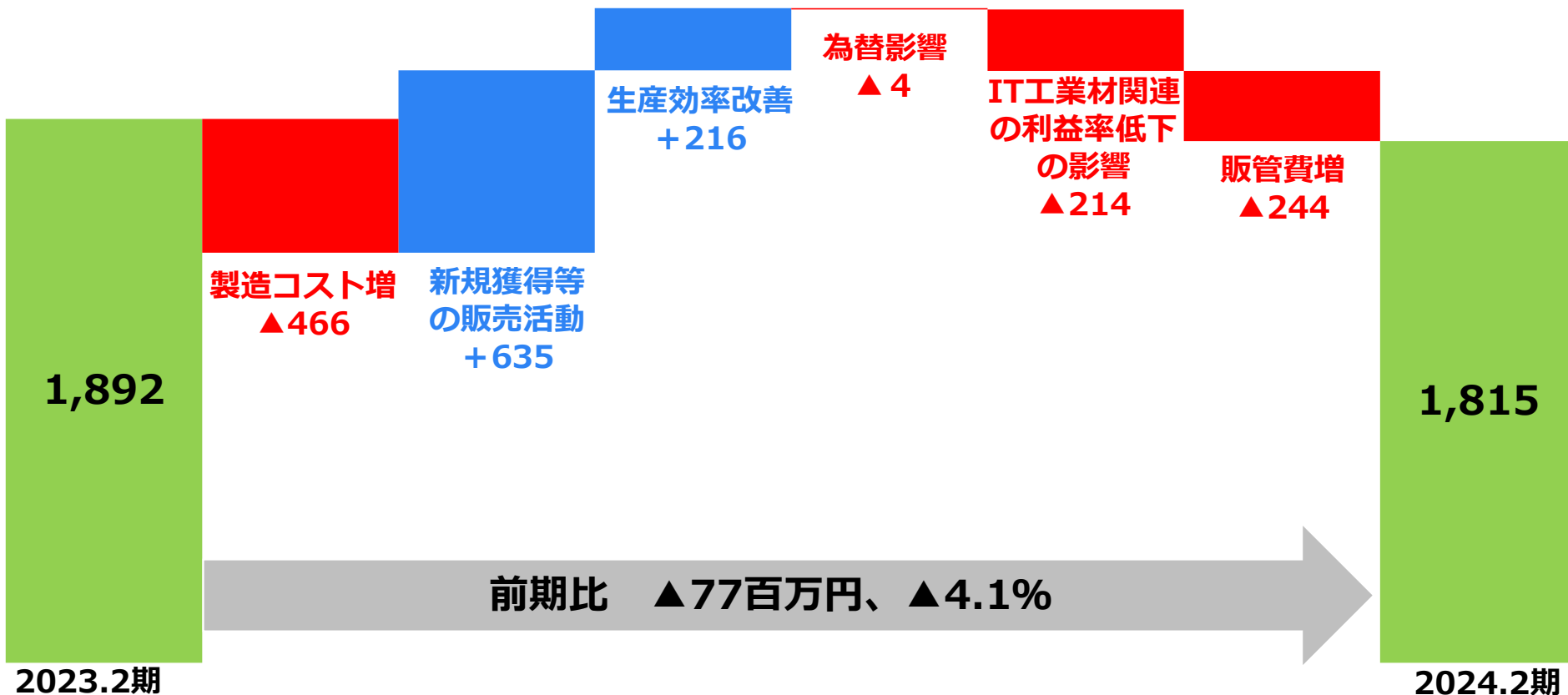
連結営業利益：1,815百万円（前期比▲4.1%）

-  **農産物などのフードパック・冷凍食品などが好調に推移し食品関連は増収。**
-  **I T・工業材関連では電子部品用途を中心とした市況の低迷と顧客側の在庫調整の影響を受け、生産量が大幅に減少し減益。**
-  **インキ代や光熱費などの製造コスト上昇により減益。**
-  **中本本体は営業利益が低迷したが、国内・国外子会社の売上及び営業利益は過去最高となった。**

営業利益増減要因（前期比）

【連結営業利益】

(単位：百万円)
※百万円未満切捨



決算ハイライト

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2023.2期 実績	2024.2期					
		実績	前期比		計画	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	43,128	44,362	+1,233	+2.9%	44,800	▲437	▲1.0%
売上総利益	6,482 (15.0%)	6,649 (15.0%)	+166	+2.6%	6,870 (15.3%)	▲220	▲3.2%
販管費	4,590 (10.6%)	4,834 (10.9%)	+244	+5.3%	5,065 (11.3%)	▲230	▲4.6%
営業利益	1,892 (4.4%)	1,815 (4.1%)	▲77	▲4.1%	1,805 (4.0%)	+10	+0.6%
経常利益	2,206 (5.1%)	2,341 (5.3%)	+135	+6.1%	1,900 (4.2%)	+441	+23.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,285 (3.0%)	1,057 (2.4%)	▲227	▲17.7%	1,253 (2.8%)	▲195	▲15.6%

設備投資額*1	1,067	1,191	+124	+11.7%	1,415	▲223	▲15.8%
減価償却費*2	1,306 (3.0%)	1,293 (2.9%)	▲12	▲1.0%	1,468 (3.3%)	▲174	▲11.9%

*1：設備投資額には建設仮勘定は含まない *2：のれん償却額は含まない

(注)換算レート 2024.2期 19.9円/元 141.8円/ドル

特殊要因について

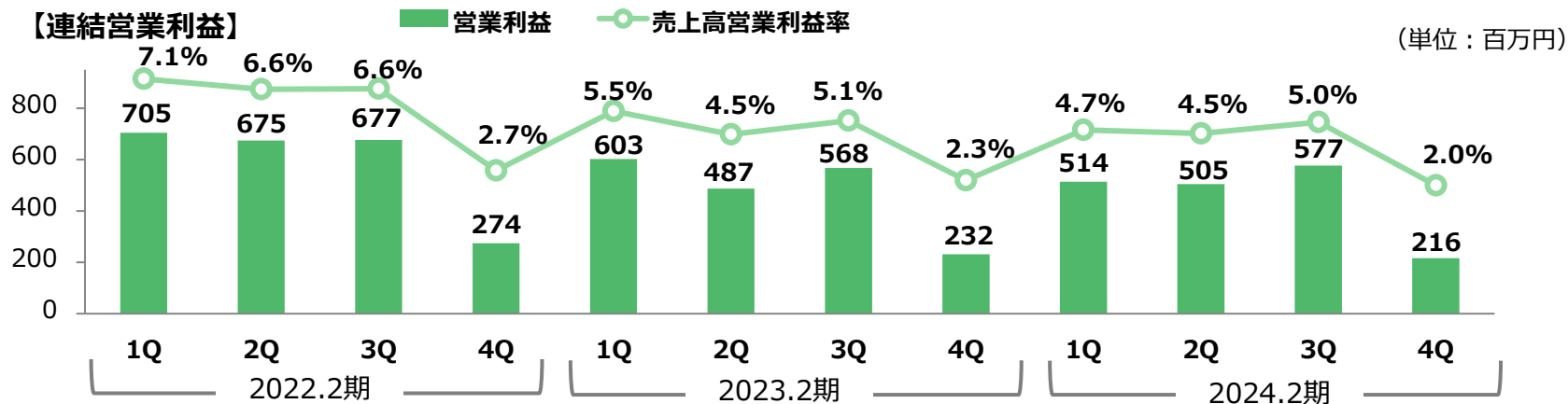
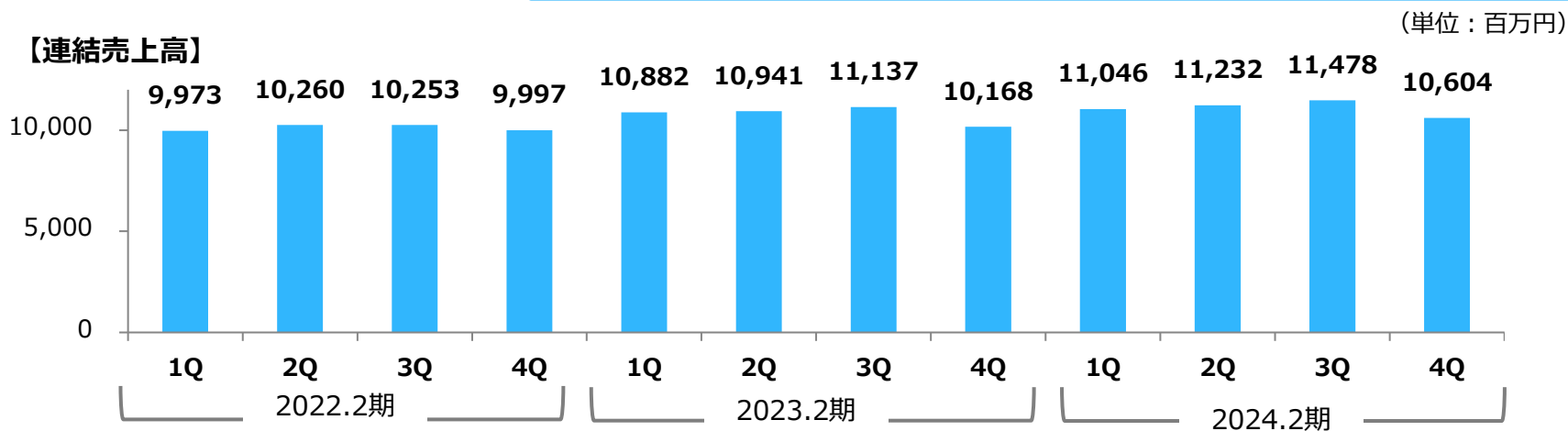
MICS化学関連の特殊要因	エヌ・ピー・ジー・ジャパン関連の特殊要因
【営業外収益】 持分法による投資利益 395百万円 【特別利益】 負ののれん発生益 410百万円 【特別損失】 段階取得に係る差損 200百万円	【特別損失】 減損損失 523百万円 関係会社整理損失引当金繰入額 187百万円

(単位：百万円)

	2024.2期			2023.2期	
	特殊要因が なかった場合	実績	差額	実績	差額
営業外損益	131	526	▲395	313	▲182
経常利益	1,946	2,341	▲395	2,206	▲259
特別損益	▲186	▲687	+501	▲95	▲90
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,374	1,057	+317	1,285	+88

四半期毎 売上・営業利益推移

- ・ 2024年2月期は各四半期で増収も、製造コストの上昇などにより利益は2024年2月期累計では前年同期比で減益となった。
- ・ IT・工業材関連の影響を受け、生産数量が大幅に減少。



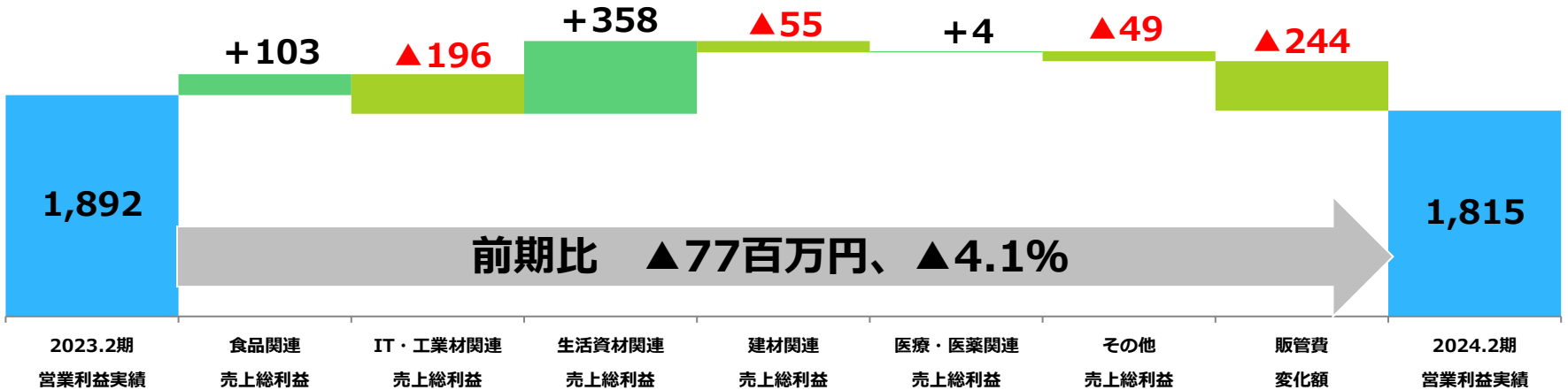
売上高・営業利益増減要因（前期比）

【連結売上高】

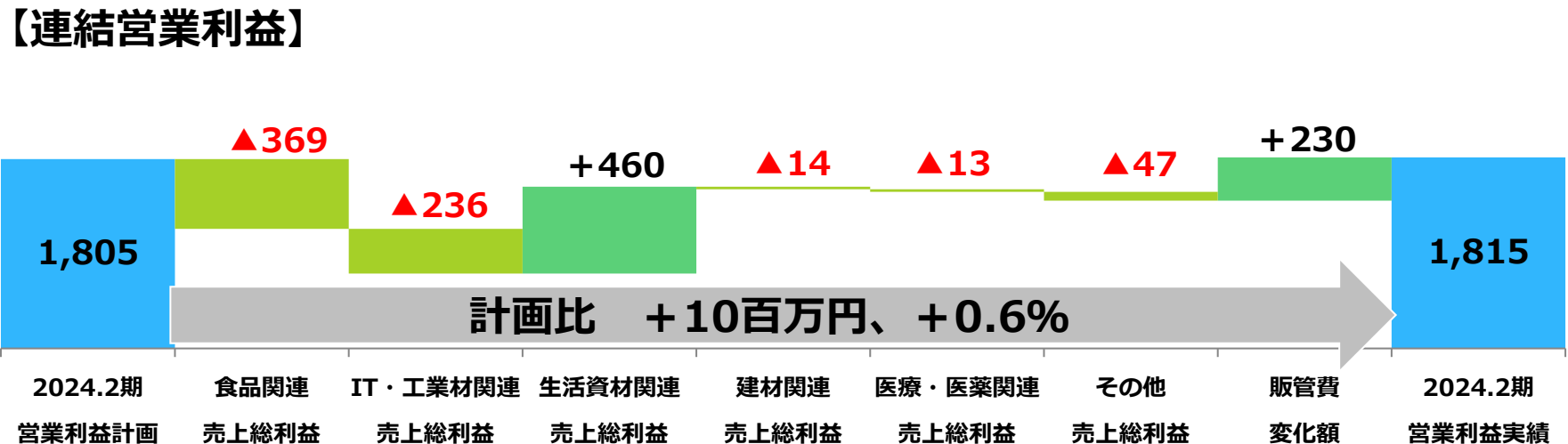
(単位：百万円)
※百万円未満切捨



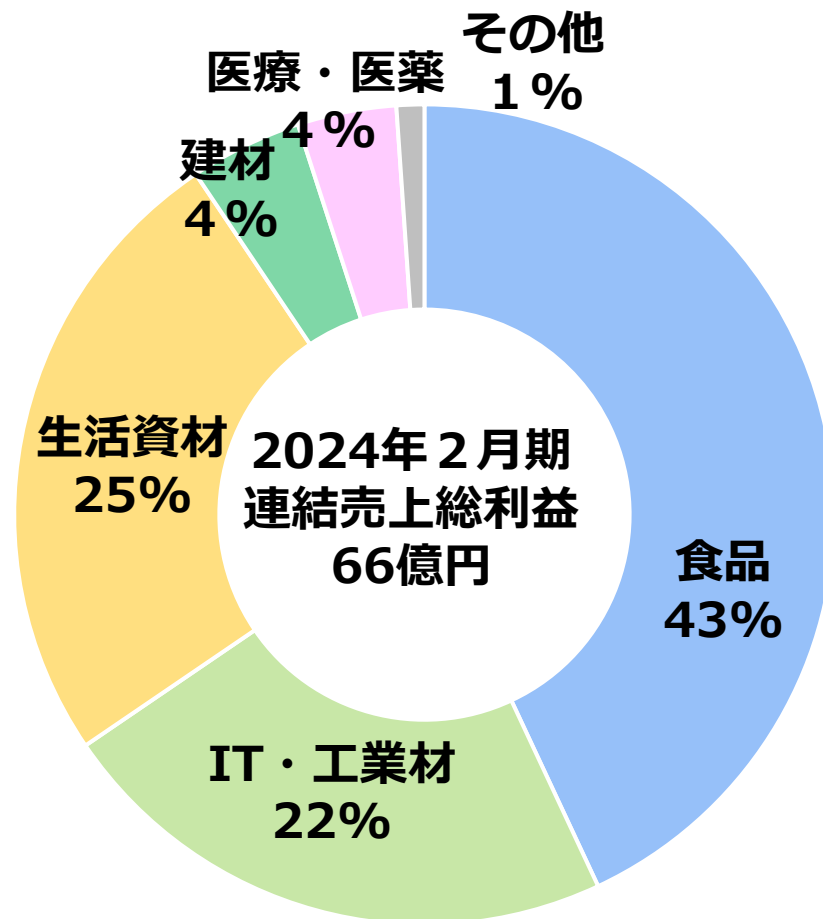
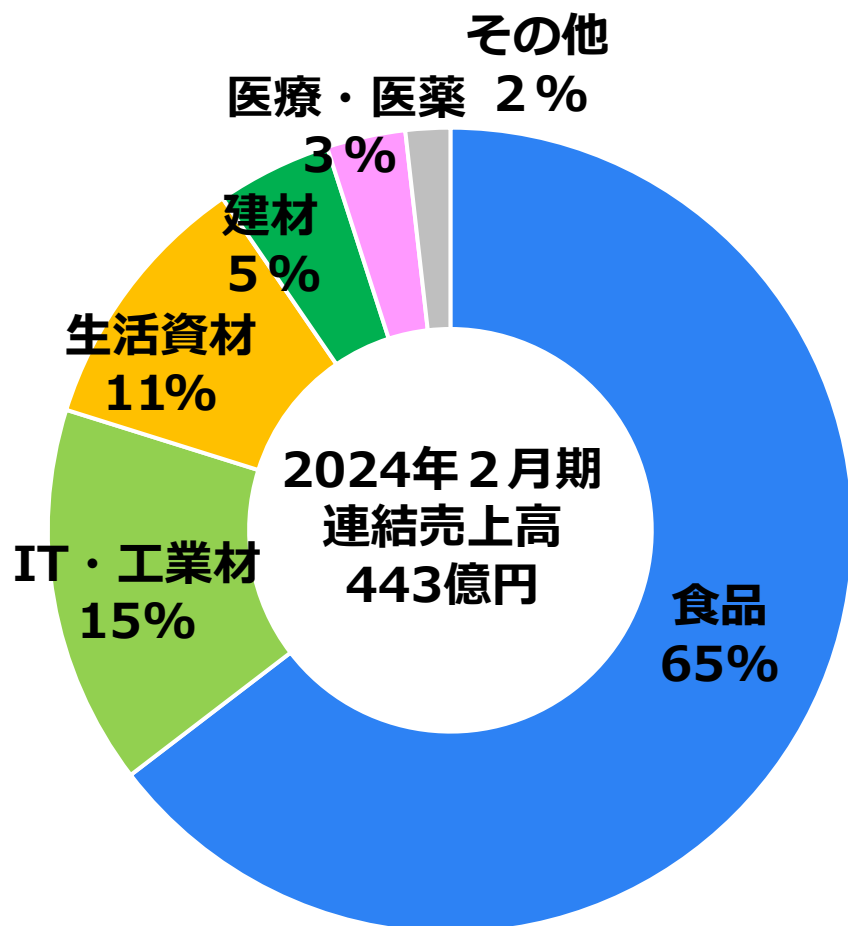
【連結営業利益】



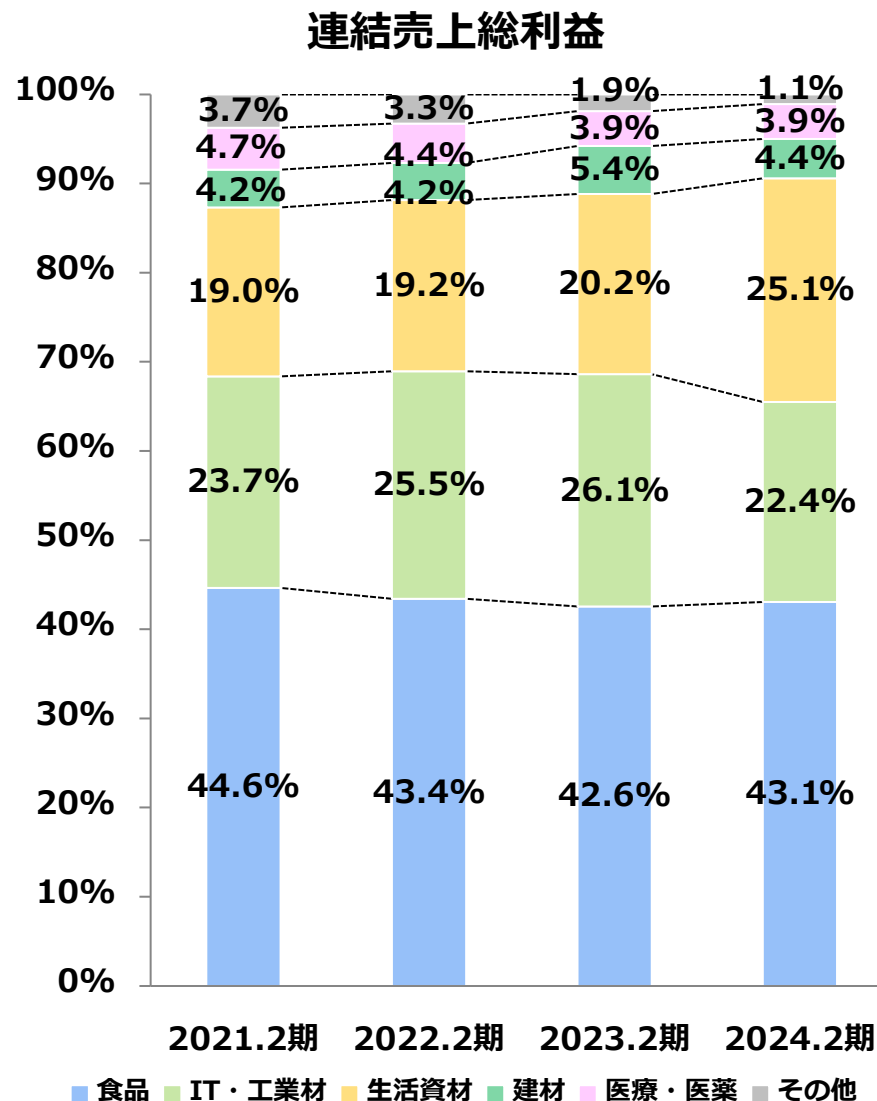
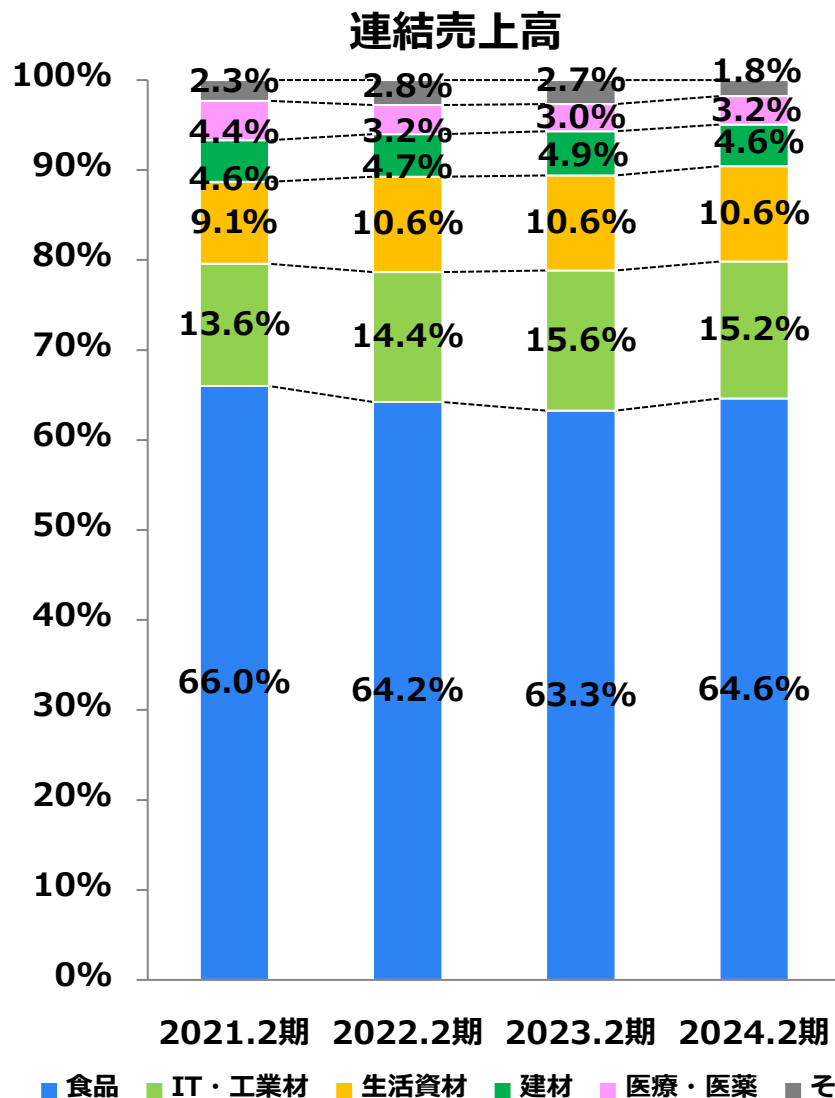
売上高・営業利益増減要因（計画比） 中本パックス株式会社



用途分類別売上高と売上総利益比率



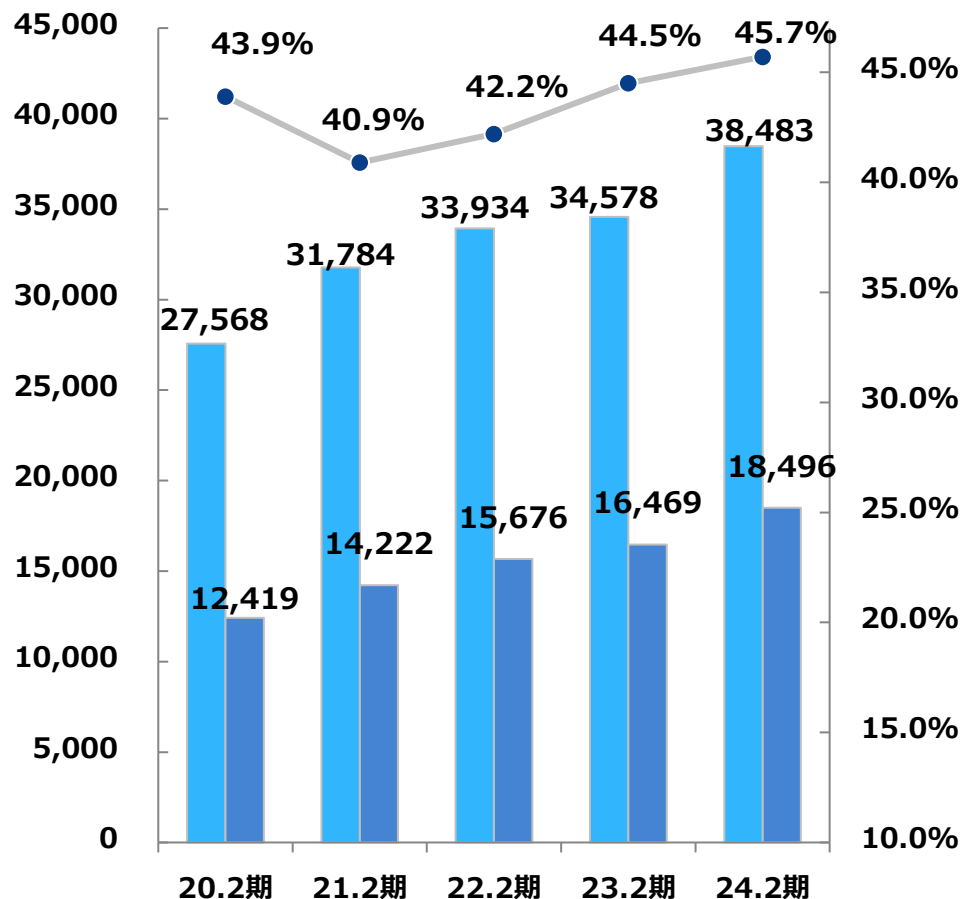
用途別売上高・売上総利益構成比の推移



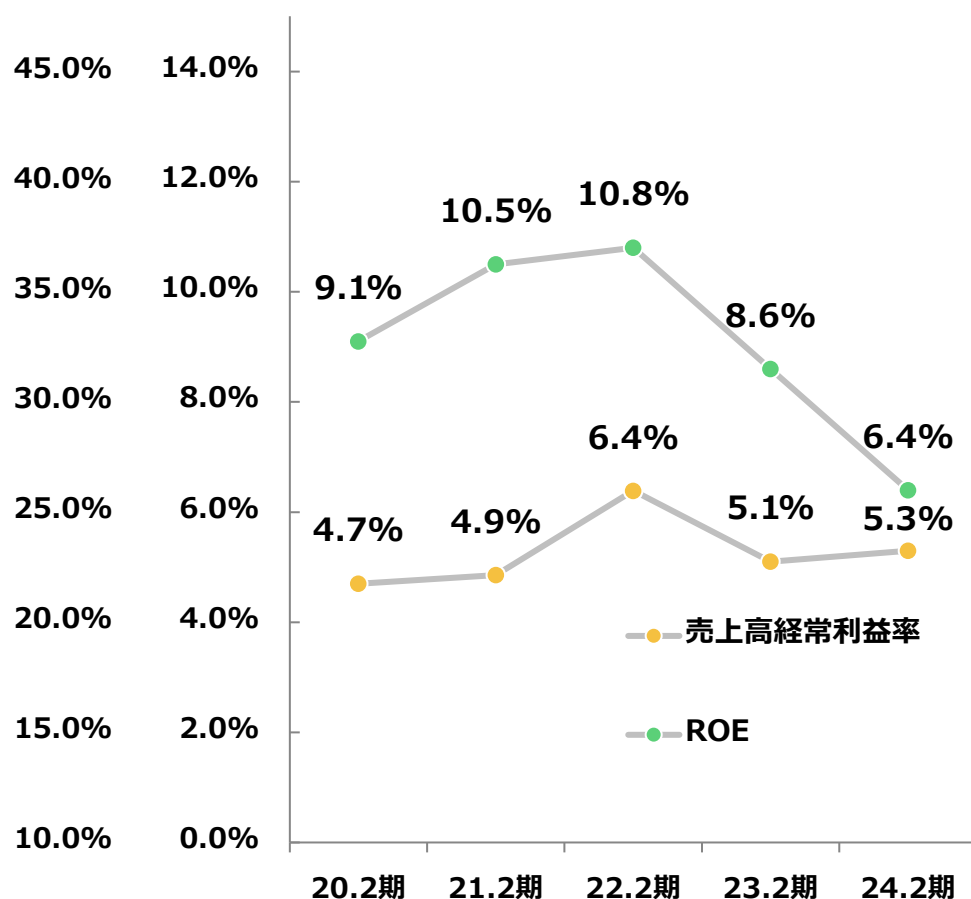
堅調な業績を背景に、財務基盤がより充実

総資産・純資産・自己資本比率

(百万円) ■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率



売上高経常利益率・ROE

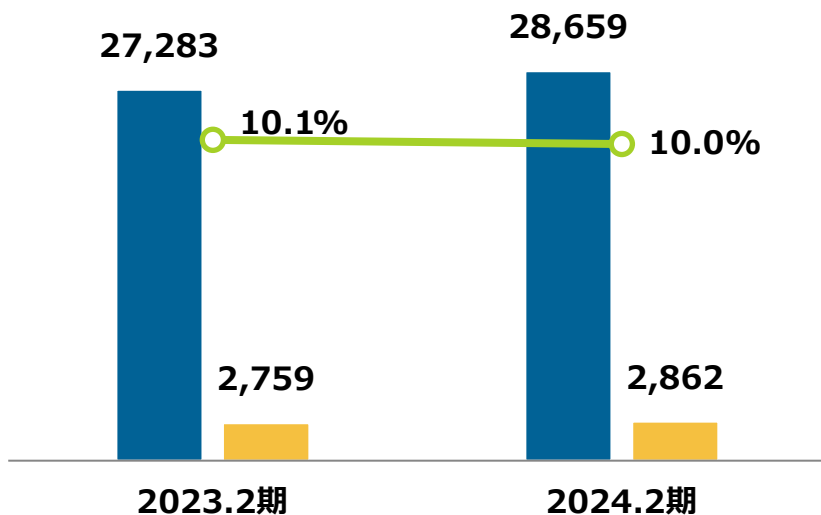


用途別状況 食品関連

食品関連

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率



当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器

イメージ

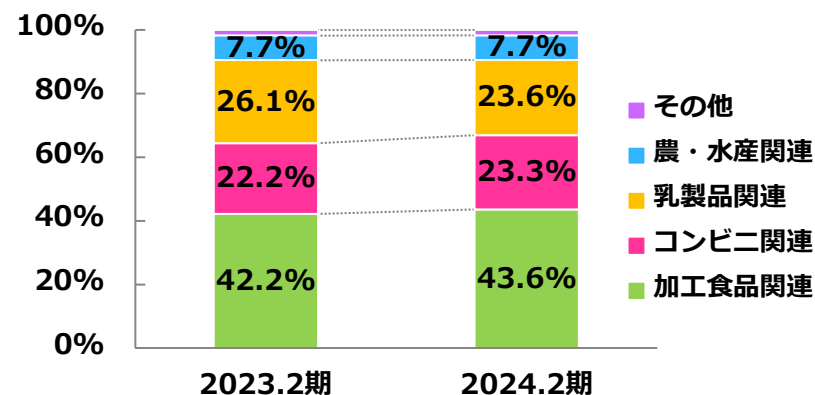


飲料蓋

■ 主要製品別販売状況

加工食品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品好調 ・会席トレーの受注増加
乳製品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・前期好調であったヨーグルト関係の一部商材が減少
コンビニ関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ラベルレスサーマルトップシールの受注増加
農・水産関連	<ul style="list-style-type: none"> ・農産向けフードパック好調

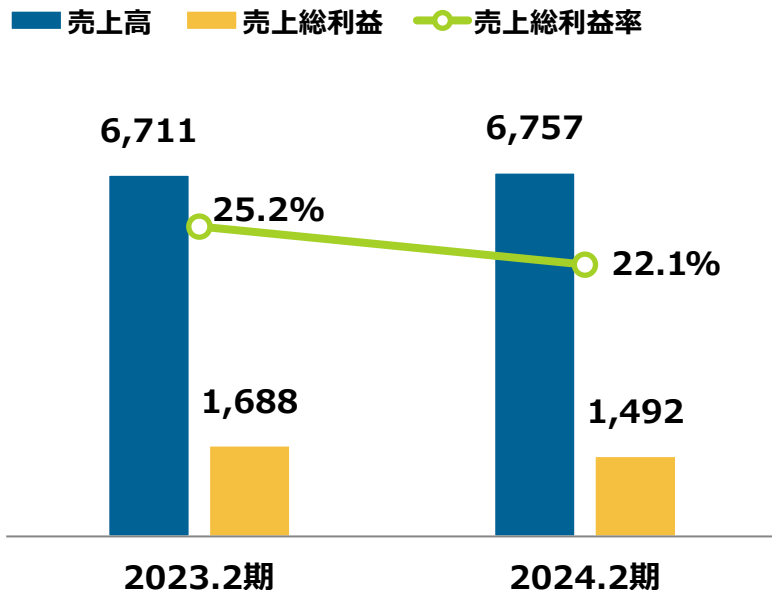
■ 主要製品別販売構成比 (連結)



用途別状況 IT・工業材関連

IT・工業材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



各種工程フィルム

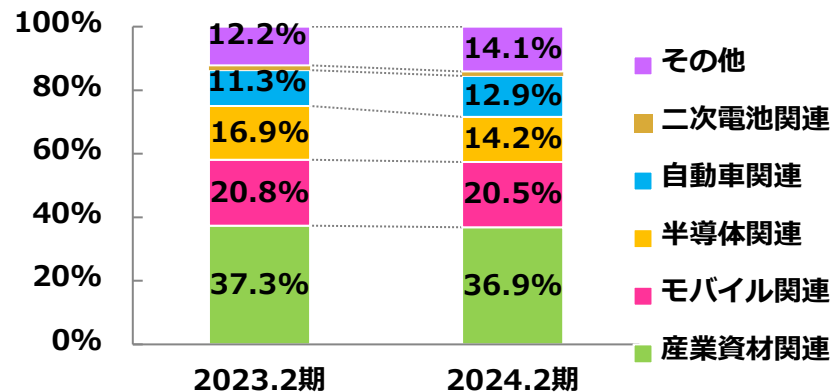


NSセパ

■ 主要製品別販売状況

産業資材関連	・石化産業向け重袋等の一部商材が減少
モバイル機器関連	・顧客側での在庫調整の影響で減少
半導体関連	・電子部品用途を中心とした市況の低迷により生産数量が大幅に減少
自動車関連	・自動車内装材は回復傾向
二次電池関連	・現在スポット案件のみ
その他	・各種開発案件が増加

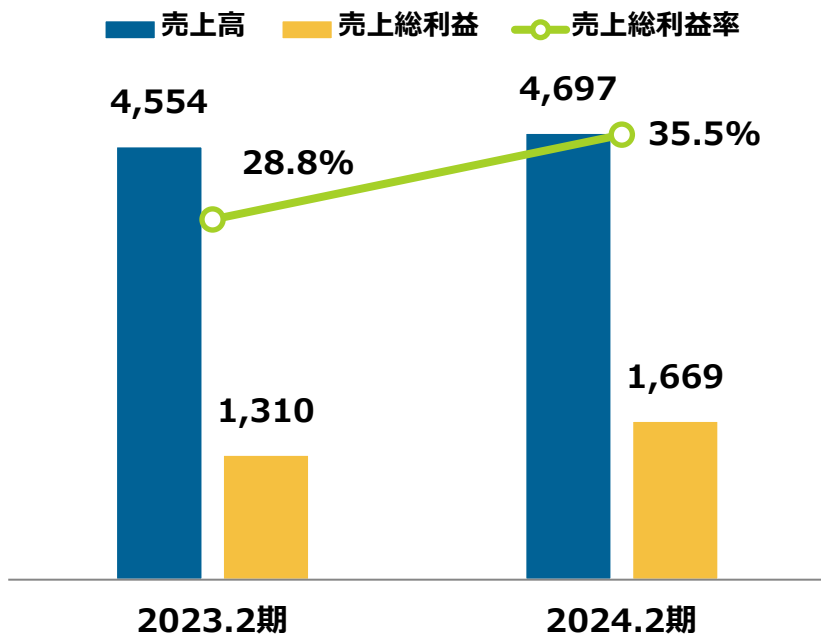
■ 主要製品別販売構成比（連結）



用途別状況 生活資材関連

生活資材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



エアコン室外機
用遮熱シール



フライパンシートにもなる
まな板シート

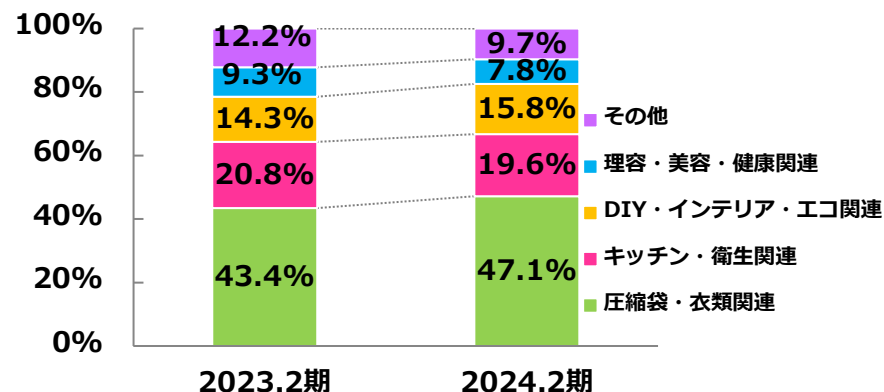


ワッフル
シートたわし

■ 主要製品別販売状況

圧縮袋・衣類 関連	・TV通販向けの商材が増加
キッチン・ 衛生関連	・ホームセンター向け衛生関連商材が減少
DIY・インテリア ・エコ関連	・エアコンの遮熱カバーや断熱シートなどの 季節商材が好調
理容・美容・ 健康関連	・毛染関係（くし、手袋）が堅調

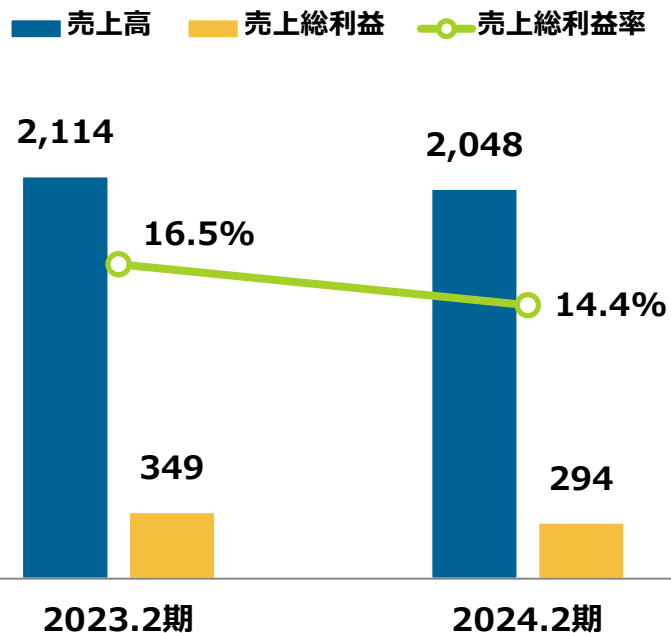
■ 主要製品別販売構成比（連結）



用途別状況 建材関連

建材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



キッチン



クローゼット

■ 主要製品別販売状況

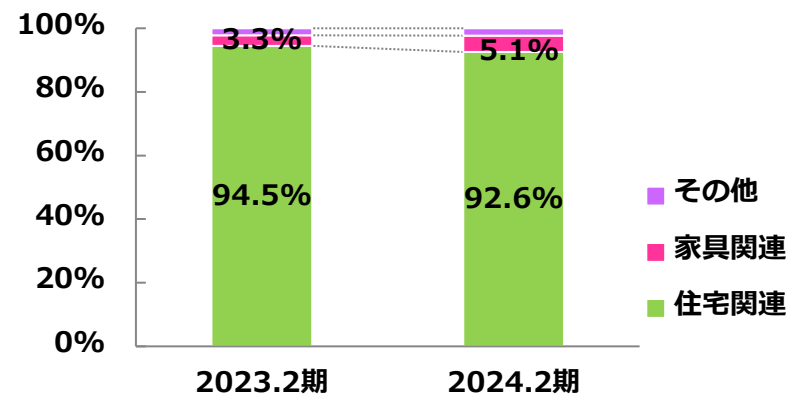
住宅関連	・戸建て・集合住宅向け表面機能コーティング加工の不調や住宅内装材向け印刷の生産調整により減少
家具関連	・海外向け案件が減少

■ Nコート

Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



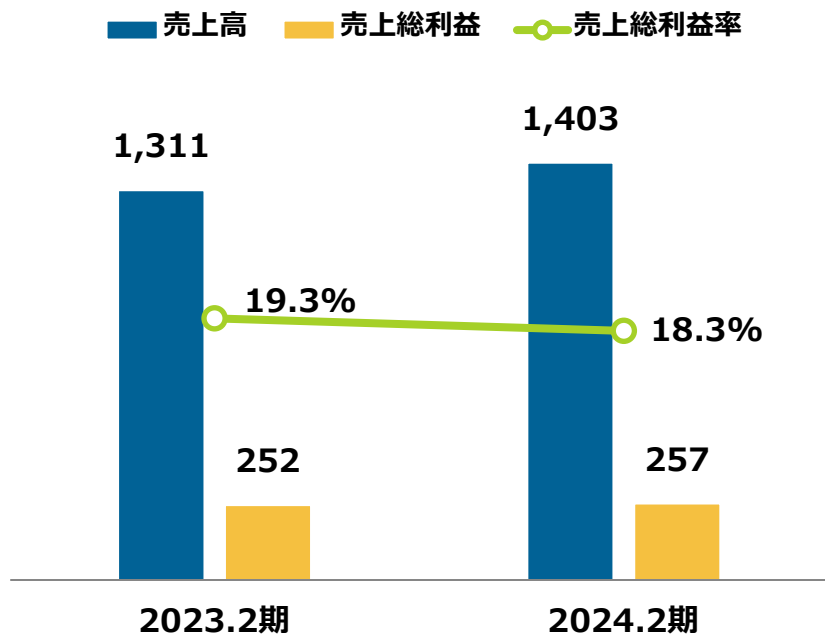
■ 主要製品別販売構成比 (連結)



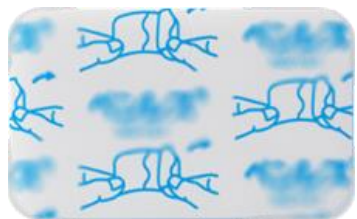
用途別状況 医療・医薬関連

医療・医薬関連

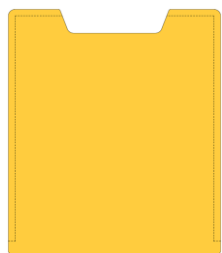
(単位：百万円)



当社製品 採用例



麻酔テープ

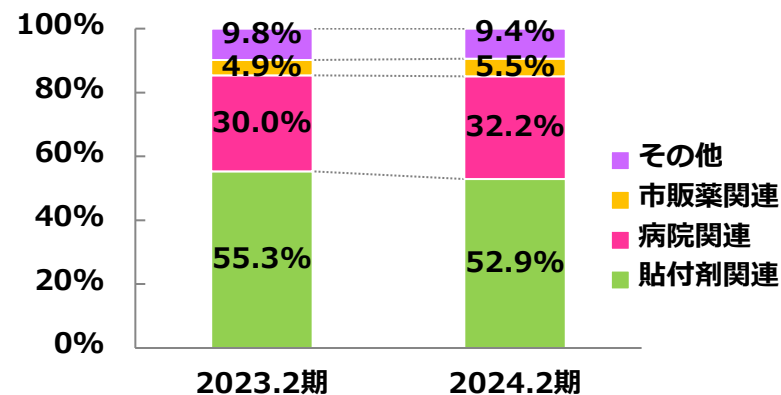


輸液用遮光カバー

■ 主要製品別販売状況

貼付剤関連	・海外向けが増加
病院関連	・輸液関係包材が堅調
市販薬関連	・市販薬用包材が堅調

■ 主要製品別販売構成比（連結）



資産・負債の状況

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2023.2末	2024.2末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	19,880 (57.5%)	23,139 (60.1%)	+3,259	現金及び預金+2,429、電子記録債権+358、受取手形、売掛金及び契約資産+586、その他+146、棚卸資産▲263
固定資産	14,698 (42.5%)	15,343 (39.9%)	+645	有形固定資産+157、無形固定資産+118、投資その他の資産+369
資産合計	34,578 (100.0%)	38,483 (100.0%)	+3,905	
流動負債	15,616 (45.2%)	16,854 (43.8%)	+1,238	支払手形及び買掛金+645、電子記録債務+343、リース債務+144、1年内返済予定の長期借入金+176、関係会社整理損失引当金+187、その他+165、短期借入金▲399
固定負債	2,493 (7.2%)	3,132 (8.1%)	+639	長期借入金+913、リース債務▲216
負債合計	18,109 (52.4%)	19,987 (51.9%)	+1,877	
純資産合計	16,469 (47.6%)	18,496 (48.1%)	+2,027	資本剰余金+1,321、利益剰余金+550、その他有価証券評価差額金+125
負債・純資産合計	34,578 (100.0%)	38,483 (100.0%)	+3,905	
ネット有利子負債	3,087 (8.9%)	1,275 (3.3%)	▲1,811	現金及び預金+2,429、長期借入金+1,090、短期借入金▲399

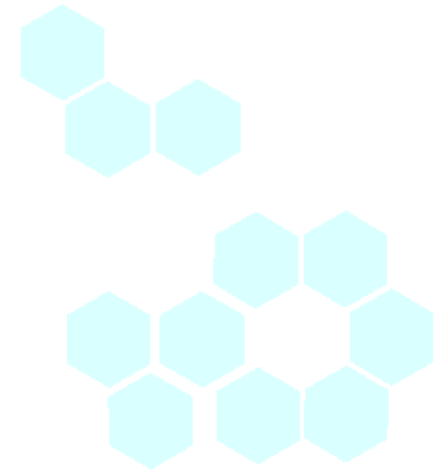
ネット有利子負債 = (有利子負債 - 現金及び預金)

キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位：百万円)

	2023.2期 実績	実績	2024.2期
			概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,547	3,458	税金等調整前当期純利益+1,653、減損損失+628、減価償却費+1,293、段階取得に係る差損+200、関係会社整理損失引当金の増加額+187、棚卸資産の減少額+560、仕入債務の増加額+573、負ののれん発生益▲469、売上債権の増加額▲213、持分法による投資利益▲347、法人税等の支払額▲699
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲775	▲2,533	固定資産の売却による収入+3、固定資産の取得による支出▲1,085、投資有価証券の取得による支出▲1,282、その他▲151
フリー・キャッシュフロー	772	925	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲683	▲32	長期借入れによる収入+1,862、短期借入金の純減額▲425、配当金の支払額▲506、長期借入金の返済による支出▲773
現金及び現金同等物の換算差額	139	69	
現金及び現金同等物の増減額	227	961	
現金及び現金同等物の期首残高	4,792	5,019	
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	-	1,465	
現金及び現金同等物の期末残高	5,019	7,446	



2025年2月期 業績見通し

当期の業績見通し（概況）

食品関連

2024.2期まで

- ・ 農産物などのフードパック・冷凍食品が好調
- ・ 弁当トレーや会席トレー、ラベルレスサーマルトップシールの受注増加
- ・ 中本Fine Packの山梨工場の売上貢献

IT・工業材関連

- ・ 自動車内装材は回復傾向
- ・ 電子部品用途を中心とした市況の低迷と顧客側での在庫調整の影響を受け、生産数量が大幅に減少

生活資材関連

- ・ 圧縮袋などの収納商材がテレビショッピングの好調で増加
- ・ エアコンの遮熱カバーや断熱シートなどの季節商材が好調

建材関連

- ・ 表面機能コーティング加工や住宅内装材向け印刷の生産調整により減少

医療・医薬関連

- ・ 輸液関係包材は堅調
- ・ 貼付剤は海外向けが増加

2025.2期以降

- ・ 昨年事業譲受した中本Fine Packの山梨工場や子会社化したMICS化学が売上及び利益に寄与
- ・ ラベルレスサーマルトップシールなどの環境対応包材の受注増加
- ・ 引き続き製造コストは上昇。価格転嫁と改善活動に努める

- ・ E C 関連資材や製造業向け重袋などの産業用資材の回復
- ・ 電子材料向け製品の本格回復には時間を要する
- ・ 成長分野の試作・量産化推進

- ・ 「予防掃除」をテーマにした汚れ防止や家事をラクにする消耗品の新ブランド「Goodna」の拡販



- ・ 既存案件の生産効率向上
- ・ 新機能性建材への取組推進

- ・ 輸液関連の新規開発案件の拡販

ヒートシールPET事業を三国紙工へ移管

約0.75億円の赤字の削減、三国紙工では2025年～黒字化を目指す



POINT 1 包んで食べれば汚れない

フィルムを剥がして食品を包むことで手を汚さずに食べられます。

POINT 2 分別廃棄できてエコ

段ボールはリサイクル・フィルムは最小限のプラスチックごみとして分別して廃棄できます。

POINT 3 食品が載る面に印刷ができる

ラミネートはペリッと剥がせて、綺麗な印刷もそのまま残せます。



<http://www.crown-grp.co.jp>



食品をフィルムで包んで食べることもできます！

こんな商品にオススメ



三国紙工にて環境対応製品の開発及び販売を加速

中本Fine Pack山梨工場実質上初年度黒字化

業績：売上約9.8億円 経常利益約▲0.1億円

（予定外の機械入替の償却等があり、経常利益はマイナス）

対象期間：2023年4月～12月（9か月間）

今期からは更なる売上及び利益貢献を見込む



改善の大きなポイント

1. 型替え時間の大幅短縮
2. ショット時間の削減

今までと種類の違う機械との入れ替えが進む中、大幅な生産性向上を達成出来た

2023年8月末押出事業の中止、
2024年2月末押出機及び延伸機の売却完了



2020年10月～操業を開始。毎年赤字が続き、先期は3億円の赤字

事業停止後は、NブランドであるNAK-A-PET及び、NC-PETを
外注協力工場生産、販売を継続する。

(事業停止に伴い、2024年2月期に約1億円の減損処理を実施)

新事業の検討は、多方面から慎重に検討、早期回収の出来る物に絞る

RNスマートパッケージングのラベルレスサーマルトップシール 「2023年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」を受賞

様々なメディアへの直接印字が可能

→環境負荷の低減

ラベル・シールが不要
プラスチック使用量が削減できる

→作業工程の効率化

ラベルやシールを貼る工程、原紙の
架け替え工程が削減できる

→包装材の統一化による在庫の削減など

製品印字がオンデマンドで可能になる為、
製品毎にロール在庫を持つ必要がない



▲ラベルレスサーマル イメージ

小売り・流通業界をはじめとした幅広い分野で生産性の向上を実現に貢献

MICS化学を24年2月1日に完全子会社化（TOB+株式交換）

所在地		愛知県愛知郡東郷町
事業内容		多層フィルムの製造及び販売
資本金		100百万円
2023年 4月期	売上高	28億79百万円
	経常利益	1億27百万円



実包例



鮭



ソーセージ



とうもろこし



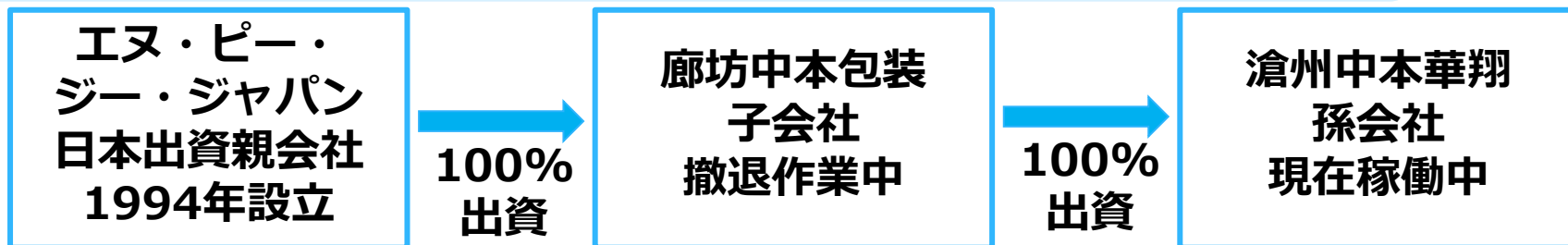
ホイップクリーム



Filmics Shu-Lock ECO
(防臭・消臭機能)

中本グループとのシナジーにより営業・生産・開発を強化することで、
更なる売上と利益アップを目指す

エヌ・ピー・ジー・ジャパンの株式を譲渡 ～中国華北地区から段階的に撤退～



滄州中本華翔の現従業員へエヌ・ピー・ジー・ジャパンの株式100%を譲渡予定
(譲渡による特別損失は約7.1億円)

○撤退の理由

1. 滄州中本華翔の日本向けの輸出は順調である一方、コロナ禍後は中国国内向けの売上が減少している。
2. 中国経済の低迷、カントリーリスクを鑑み、撤退を決断。

利益が出ているうちに華北地区から段階的に撤退し、
ベトナムへ事業移管を進める

当期の業績見通し

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2024.2期 実績	計画	2025.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	44,362	48,000	+3,637	+8.2%
売上総利益	6,649 (15.0%)	7,880 (16.4%)	+1,230	+18.5%
販管費	4,834 (10.9%)	5,680 (11.8%)	+845	+17.5%
営業利益	1,815 (4.1%)	2,200 (4.6%)	+384	+21.2%
経常利益	2,341 (5.3%)	2,500 (5.2%)	+158	+6.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,057 (2.4%)	1,582 (3.3%)	+524	+49.6%

想定為替レート 20.3円/元 142.0円/ドル

設備投資・減価償却費 計画

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2024.2期 実績	計画	2025.2期	
			前期比	
			差額	比率
設備投資額	1,191 (2.7%)	1,417 (3.0%)	+225	+18.9%
減価償却費	1,293 (2.9%)	1,324 (2.8%)	+31	+2.4%

【2025.2期の主な設備投資】

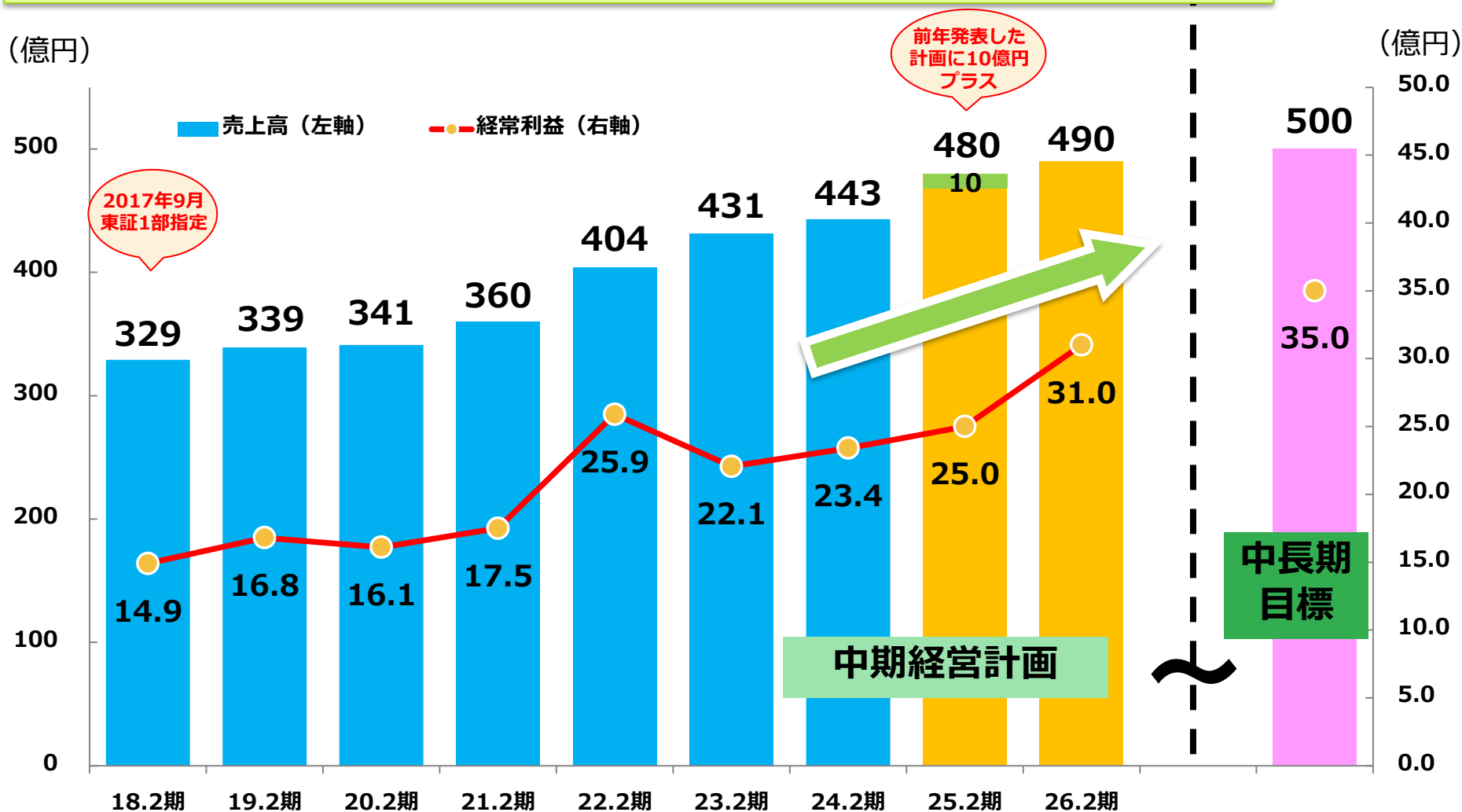
件名	内容	投資金額（億円）
工場・生産設備	印刷機(名張)、成型機(中本Fine Pack)、 クリーン環境工事（三国紙工）他	約9.2億円
IT化・システム付帯設備	太陽光発電システム（名張）、基幹システム関係他	約0.3億円
空調関連	空調設備(名張・竜ヶ崎・中本印書館等)	約1.5億円
検査・測定・分析機器	検査・測定・分析機器(名張・埼玉・技術開発)他	約1.5億円
その他	土地購入・営業車購入他	約1.5億円

2025年2月期の重点取り組み

- 1. 環境経営の推進**
- 2. 積極的なM&A**
- 3. 海外事業の収益アップ及び最適化**
- 4. IT・工業材分野の投資、開発強化**
- 5. 技術力強化による生産性・品質改善**
- 6. 基幹システム刷新による効率化推進**

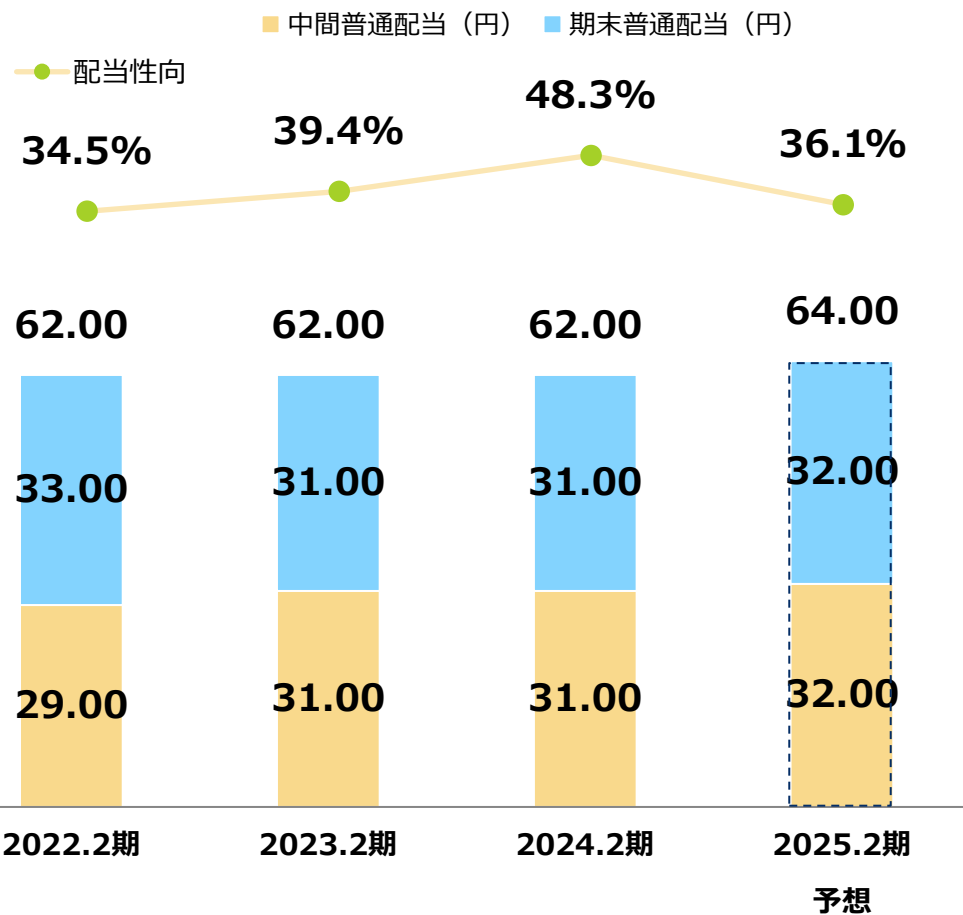
中期業績目標（連結）

中長期的に売上高500億円 経常利益35億円を目指す



※2023年2月期以降の各目標数値については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）適用後の値です

■ 2025年2月期は2円増配の年間64円配当を予想



【株主優待制度】

対象となる株主様

毎年2月末現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元（100株）以上保有する株主様

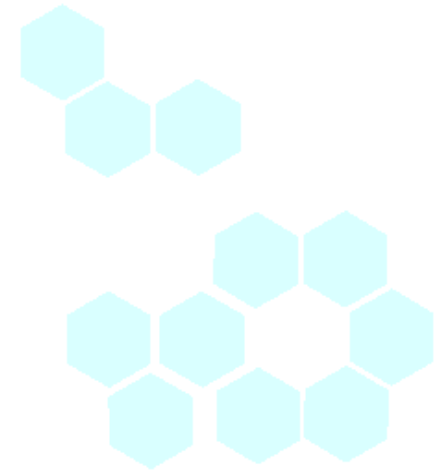
株主優待内容

100株以上200株未満 QUOカード1,000円分
200株以上 QUOカード2,000円分

贈呈時期

毎年5月末頃を予定

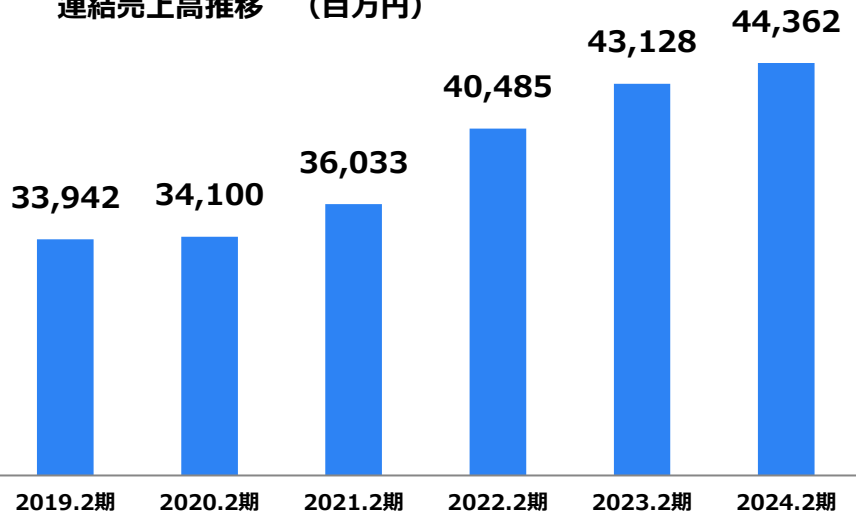




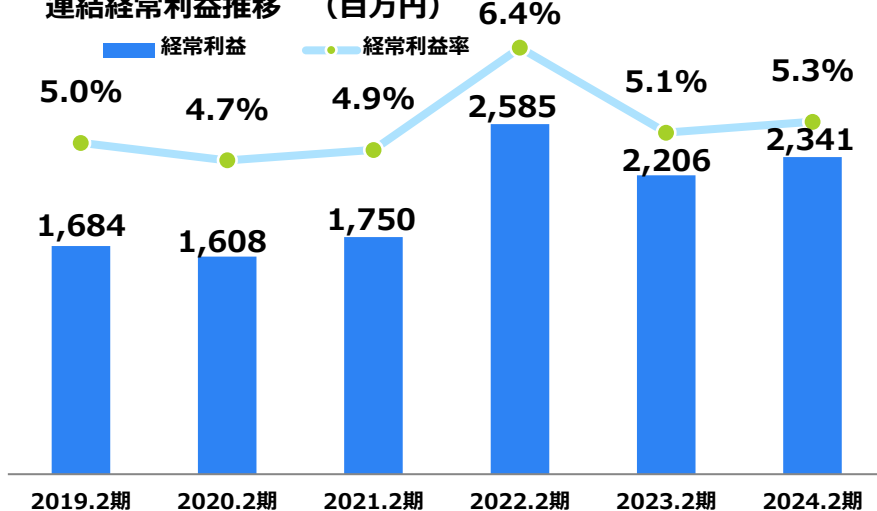
参考資料

業績推移 1/2

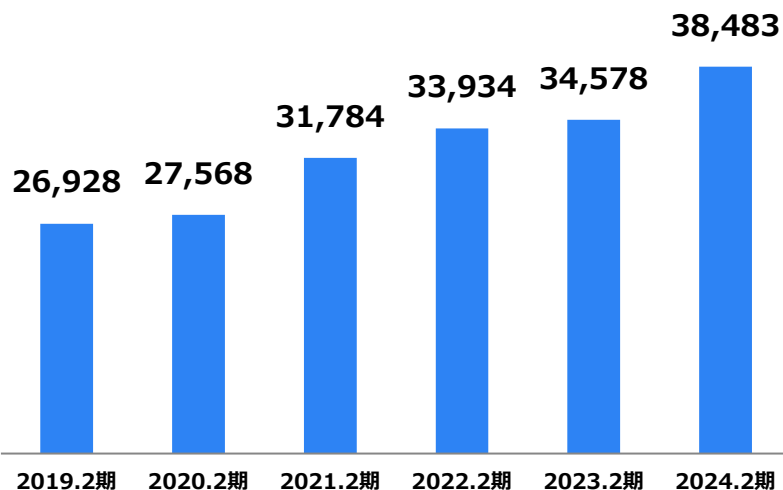
連結売上高推移 (百万円)



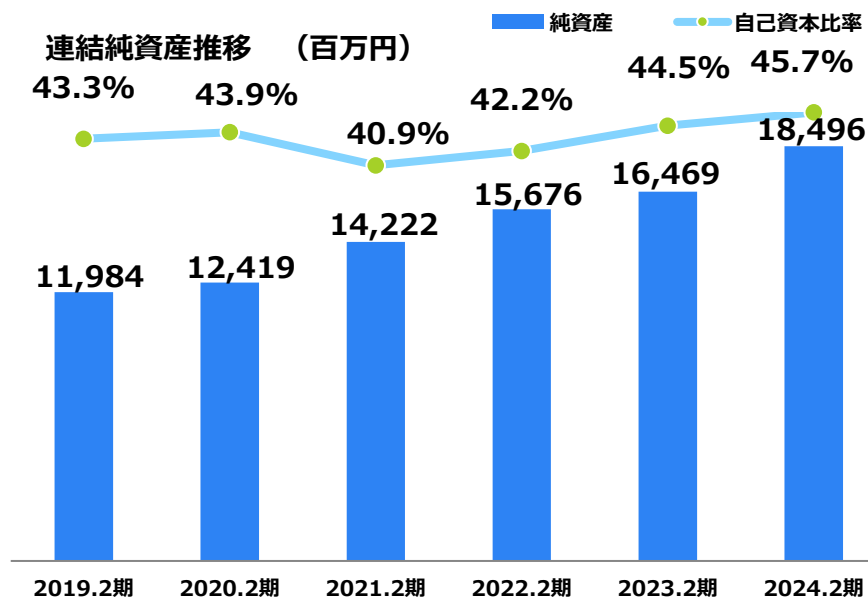
連結経常利益推移 (百万円)



連結総資産推移 (百万円)

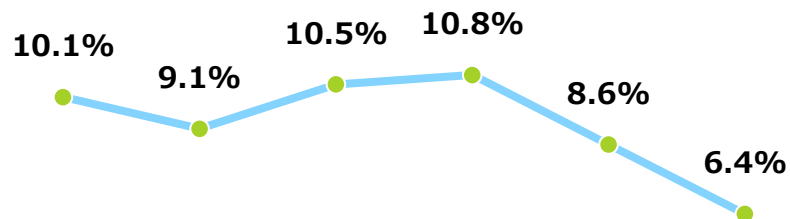


連結純資産推移 (百万円)



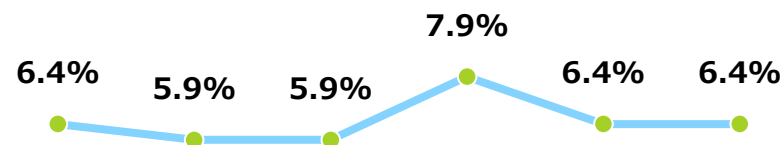
業績推移 2/2

連結ROE推移



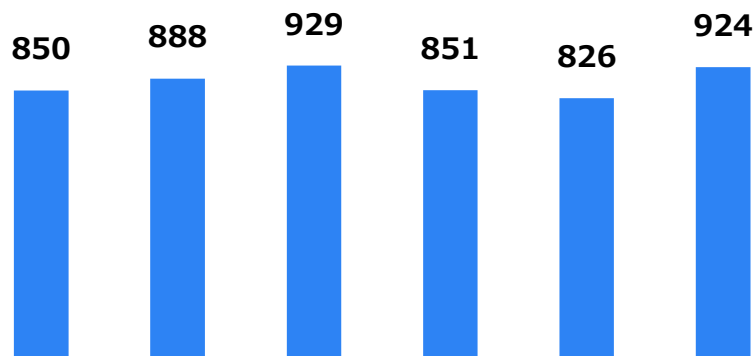
2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期

連結ROA推移



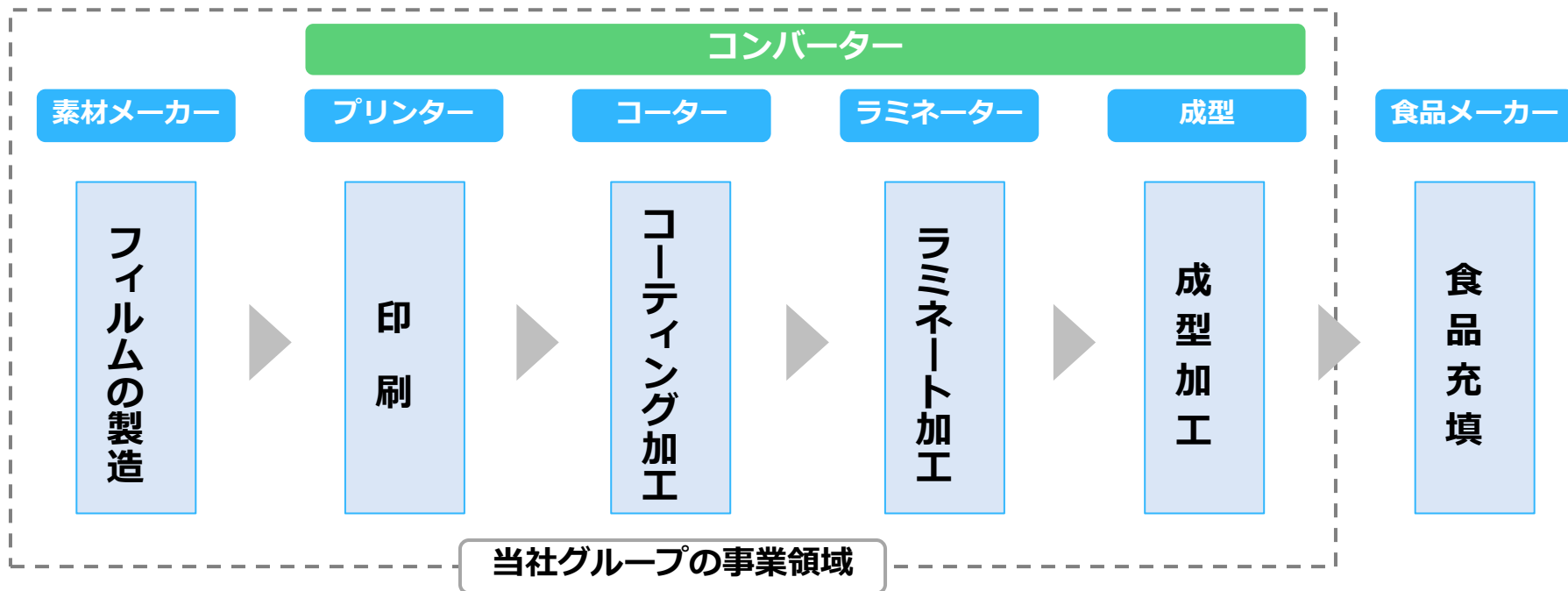
2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期

連結従業員数推移 (人)



2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期

包装材印刷加工のプロセス（例）



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷（印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷）で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 （ドライラミネート及びサーマルラミネート）	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること（食品用容器、トレー、蓋等） インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン&セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

- 「誠実と誠意で信用を高めよう」
- 「忍耐を以って創意工夫をしよう」
- 「自己を啓発し協調精神を養おう」
- 「共存共栄を計り社会に貢献しよう」
- 「技術向上と力闘精神を発揮しよう」
- 「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

- 「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」
- 「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」
- 「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」
- 「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」
- 「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」
- 「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。